

学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力充実＋生徒の自立支援
評価指標	1、中途退学率の低減 2、学校生活満足度の向上 3、授業アンケートと学校教育自己診断における授業への満足度の向上
計画名	西成高校 「学びと支援の空間づくり」PJ

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	学校目標：「学びと支援の新たな結合による第三の教育の推進」（EPSの進化と深化） 中期目標：① 学習力をエンパワーする 学習力向上グループ（全員参加）による学習力向上の取組みにより、生徒を授業で動機付ける。「授業力」向上から「学習力」へ着目点を変えることで、生徒に寄り添った「多面的な評価方法」を開発し、エンパワーメントスクールとしての最大の目標、高校卒業と市民としてのチカラを育成する。
事業目標	エンパワーメントスクールの中で唯一「知的障がい生徒自立支援コース」を併せ持つ本校は、他のEPSと違い、療育手帳所持者および支援学級在籍経験者が学年の約3分の1を占める状況となっている。従来からの生徒に寄り添った、人権・支援・キャリア教育の取組みは全国でも有数の取組みをしていると自負しているところである。しかしながら、学習面に至っては工夫や進化がまだ十分に達していない弱みでもある。そのことが、中途退学率の減少が期待ほど実現できない理由となっていると考えられる。 ○生徒の学習力を伸ばすため、ICTによる教育活動のハードルを下げる。 ○学校情報の共有化の促進 ○生徒の居場所スペースを確保し、自学するスペースとする。
整備した 設備・物品(数量)	○教室持込み用タブレット端末（教員教材表示用） 69台 ○USB変換アダプター 69台 ○EZ Cast Pro LAN 22台 以上3点については、既存のネット環境との調整作業が遅れたため、購入のみで活用に至らず。 ○渡り廊下居場所スペース用 机4台、椅子8脚
取組みの 主担・実施者	実施者は教員全体。 主担者は、ICT環境の整備については、首席 授業、研修関係については学習力向上PT（首席、教員7名） 拡大生徒支援委員会については教頭。
本年度の 取組内容	○先進的取組校への取材・視察（東京都立穂ヶ丘高等学校、久留米市立南築高等学校ほか） ○多面的評価についての研修講演（5月、教頭） ○学識を招いての公開研究授業、研究協議、研修会（7月、10月、12月） 学識＝大阪教育大学の教授 ○初任者（6名）による校内研究授業（6月、10月、1月） ○SSW、SC、居場所カフェのスタッフなど本校の生徒支援に関わる外部人材を含めた拡大生徒支援委員会の開催（8月、9月、11月、1月） ○ブチスタディコーナー設置
成果の検証方法 と評価指標	○授業アンケートにおいて、「先生は授業でさまざまな教材をうまく使っていますか？」また、学校教育自己診断アンケートの「授業はよくわかる」（平成28年度51%）の項目を前年度比5%向上させる。 ○中途退学防止について、中退率を6.6%をめざす。（平成28年度末8.6%） ○西成高校に入学してよかった 肯定感48%を55%にする。
自己評価	○授業アンケートにおける「先生は授業でさまざまな教材をうまく使っていますか？」の肯定的回答 平成28年度[第1回]85.9%、[第2回]85.4% → 平成29年度[第1回]84.7%、[第2回]87.4% ⇒(△)（指標の高止まり ← 平成28年度データの分析不足） ○学校教育自己診断アンケートにおける「授業はよくわかる」の肯定的回答 平成28年度 51% → 平成29年度 1年 78.2%、2年 61.3%、3年 65.1% ⇒(◎)（特に、1年の指標が高い） ○中退率（平成29年度当初在籍数 546名） 平成29年度3月5日までの退学者25名（暫定） = 年度当初在籍者数比 4.6% ⇒(○) ○学校教育自己診断における「西成高校に入学してよかった」の肯定感 平成28年度 48% → 平成29年度 1年 71.8%、2年 55.5%、3年 55.5% ⇒(◎)（特に、1年の指標が高い）
次年度に向けて	○授業アンケートにおける「先生は授業でさまざまな教材をうまく使っていますか？」の肯定的回答 ⇒ 指標から外す ○学校教育自己診断アンケートにおける「授業はよくわかる」の肯定的回答 ⇒ 上方修正 平成28年度 51% → 平成29年度 1年 78.2%、2年 61.3%、3年 65.1%（平均67.5%）をふまえ、授業内容における学年間の接続を意識する（3年間をトータルした教科シラバスを作成する）とともに、今年度購入したタブレット等のICT機器を授業や授業づくりに活用することで、2年目の数値目標を73%、3年目の数値目標を80%とする。 ○中退率 ⇒ 数値目標は変更せず 年度をこえて5月に手続き完了する3月31日付退学もあり得るので今年度の数値も上昇する可能性がある。「ブチスタディコーナーの設置による生徒の居場所づくり」に加えて、居場所カフェの充実とともに「外部人材間の連携」「生徒支援をより充実させた校内組織の改編」「生徒指導と生徒支援の連携」を軸に退学率を2年目4.6%、3年目2.6%を目標としていく。 ○学校教育自己診断における「西成高校に入学してよかった」の肯定感 ⇒ 上方修正 平成28年度 48% → 平成29年度 1年 71.8%、2年 55.5%、3年 55.5%（平均60.9%）をふまえ、上記の諸方策により、2年目の数値目標を70%、3年目の数値目標を80%とする。